

令和 7 年度 川口市立美術館市内巡回ワークショップ
「市民とつくる 渡り鳥アートプロジェクト」

1 目的

アートに触れる創作体験を通じて、川口市立美術館のオープンに向けて機運を高めるとともに、美術館の魅力発信及び集客力向上を図るため、市内を巡回するワークショップを開催するもの。

2 内容

小林万里子（テキスタイル作家）が、ワークショップで集まった渡り鳥の作品を川口市立美術館のアトリウムに吊るして展示する。

3 手段

参加者は、白い下地に描かれた渡り鳥の形に縁の中に布や端材を組み合わせて1人1つの作品を制作する。

日 程	開 催	令和 7 年 9 月～1 2 月 各 日（土 日 祝 の い ず れ か）
	作 家 製 作 ・ 設 営	令 和 8 年 1 月～3 月
	公 開	令 和 8 年 4 月～GW 頃
場 所	イオンモール川口、イオンモール川口前川、 （予定）SKIPシティ、メディアセブン、市産品フェア 2025	
内 容	各所にて、事業概要に沿った当日参加型のワークショップを開催。所要制作時間は1ターン30分～1時間程度。受付にて、制作手順と概要を聞いた人から順次制作。完成した人は作品を提出し、美術館お披露目展示のチラシを受取る（作品返却はなし）。	
対 象	どなたでも	
参 加 費	無料	
定 員	1 ターン 1 5 ～ 3 0 名 程 度（材 料 な く な り 次 第 終 了）	
申 込	当 日 参 加 ・ 事 前 申 込 不 要	
協 力	市 内 織 物 関 連 企 業（素 材 の 無 償 提 供）	

材料イメージ



制作作品イメージ



作品コンセプト

本事業で市民が制作した作品を集め、作家の小林氏が、アトリウムに空間的に演出して展示する。展示室の床には、川口の水辺をイメージしたプロジェクションマッピング、壁面には、日本を訪れる渡り鳥が、どのような国や地域を渡っているのかをまとめて、掲示する予定。

小林氏は、織や染め、刺繍といったテキスタイルの技法を駆使して、自然の中でおこる「生命の循環」を表現する。

今回のテーマである渡り鳥は、移動するルートの水辺が減少すると絶滅してしまうことが危惧されるなど、地球環境と密接に関わりがある。川口市内にも荒川や芝川、見沼たんぼなど、豊かな水体系があり、渡り鳥の生息地域となっている。

また、作品の材料になる布や端材は、市内で織物業を営む企業から提供されるものも使用。資源を有効に活用しながら、できる限り環境負荷を減らす社会の実現にも貢献したい。

今事業により、市民が制作した一つ一つの作品が連なることで完成する作品が、これからオープンする川口市立美術館が、市民とともに創る文化活動の場であると受け止められるとともに、地域の自然に想いを馳せたり、地球環境を考えるきっかけとなることを期待したい。



作家略歴

小林万里子 (テキスタイル作家)

1987年 大阪府出身、埼玉県在住。

2012年 多摩美術大学テキスタイルデザイン専攻 同大学院修了。

2025年 大阪・関西万博で「渡り鳥プロジェクト」を実施。

アンドレア・マイヤーズとのコラボレーション作品をアメリカ館に展示。

現在、川口市のアプリュス・芝スタジオにて制作活動を続けている。



「熱と水」2018、3000×5000 mm



「思考は風に乗る」2020



「終わりのないよろこび」2021、6000×3800 mm



「風の使者」2023、3600×5300 mm



「はるばるの隙間から」2021、1300×1900 mm



「4つ目の境界」2022、3000×6000 mm

出典：MARIKO KOBAYASHI Textile Artist HP：<https://www.mariko-kobayashi.com/>

Copyright © 2023 kobayashi Mariko All Rights Reserved.